

1. 産業標準案の番号及び名称

規格番号 JIS G1229
規格名称 鋼—鉛定量方法

2. 主務大臣

経済産業大臣

3. 廃止の理由等に関する事項**(1) 廃止の理由**

JIS G 1229:1994は、鋼中の鉛定量方法を規定したもので、2種類の定量方法を規定している。現行規格は、1994年に改正されて以降、約28年間経過したが、この間、JIS Z 8402〔測定方法及び測定結果の精確さ（真度及び精度）〕規格群が制定、関係するJIS K 8001（試薬試験方法通則）、JIS G 1201（鉄及び鋼—分析方法通則）などが改正され、許容差の計算方法、試薬名称、分析方法規格に要求される事項などが変化してきたため、技術的内容を見直す必要がある。

見直しにあたり、“複数の分析方法が規定されている規格を改正する場合には、分析方法ごとに部編成規格として制定する”とした、原案作成団体（日本鉄鋼連盟鉄鋼標準化センター 鋼材規格及び原料規格検討会）の統一見解に従い、新たに次のように2分割して制定するとともに、この規格を廃止する。

第1部：硫化鉛沈殿分離モリブデン酸鉛重量法

第2部：鉄分離ジフェニルチオカルバゾン抽出吸光光度法

(2) 規格の移行先

G1229-1

G1229-2